

- 問1 東南アジアなどの熱帯地域において、大規模な農園であるプランテーションで組織的に栽培されている農作物のうち、果実から採取される油が植物油や石鹸、マーガリンなどの原料として広く利用されているものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. サトウキビ 2. カカオ 3. 綿花 4. 油ヤシ
- 問2 21世紀に入り急速な経済成長を遂げているアジアの国に関する説明です。2019年の統計において、自動車生産台数が約452万台に達し、アジアでは中国、日本に次ぐ第3位（韓国やタイを上回る規模）となっている国を次の中から選びなさい。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. タイ 2. 韓国 3. インド 4. ベトナム
- 問3 東南アジアのカンボジアに位置するトンレサップ湖では、乾期の終わりにあたる4月末には湖の面積が約3,000平方km、水深が1m未満となりますが、10月初旬には面積が約18,000平方km、水深が8m以上にまで劇的に拡大します。このような湖の規模の変化をもたらす気象的要因と河川の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 夏に海から吹き込む季節風（モンスーン）の影響で降水量が多くなり、メコン川の流量が急増するため。
2. 中緯度帯の上空を一年中西から東へ吹く偏西風の影響で、熱帯低気圧が連続して発生し雨をもたらすため。
3. 赤道付近で一年中一定の方向に吹く貿易風の影響で、年間を通じて安定した降水量が確保されるため。
4. 冬に大陸から吹き込む乾燥した季節風の影響で、周辺の山岳地帯から大量の融雪水が流れ込むため。
- 問4 インドにおける宗教別の人口構成について、その割合の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 仏教の発祥地であるため、現在でも人口の約80パーセントが仏教を信仰している。
2. かつてイギリスの植民地であったため、キリスト教徒が人口の約80パーセントに達している。
3. 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、次いで約15パーセントをイスラム教徒が占めている。
4. 歴史的に西アジアとの交流が盛んであったため、イスラム教徒が人口の約80パーセントを占めている。
- 問5 ある農産物の生産データにおいて、メキシコやペルーなどのアメリカ大陸の国々と比較した際、タイで約3300万トン、パキスタンで約1400万トンと、アジアの国々で圧倒的に多く生産されている特徴をもつ作物はどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. とうもろこし 2. 米 3. 小麦 4. いも類
- 問6 アジア諸国における貿易の変化について述べた文として、経済発展の背景と輸出項目の変遷を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 農業の近代化により、衣類や原油に代わって小麦や羊毛の輸出額が急増し、貿易の大部分を占めるようになった。
2. 資源の枯渇により、工業製品の輸出を縮小し、衣類などの伝統的な軽工業品の生産に特化するようになった。
3. 工業化の進展により、輸出の主軸が一次産品や軽工業品から機械類などの重化学工業製品へと変化した。
4. 重化学工業から軽工業へと産業の中心が移り、機械類に代わって綿花が最大の輸出品目となった。
- 問7 中国の沿岸部に経済特区が設置され、工業化が急速に進んだ結果、中国国内で生じた人口の動きや社会の変化として、最も適切な説明はどれか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 外国企業の進出により沿岸部の環境が悪化したため、富裕層を中心に内陸部への移住が進んだ。
2. 内陸部の農業を振興するため、沿岸部の都市居住者を内陸部へ移住させる政策が優先された。
3. 沿岸部と内陸部の経済格差が解消されたため、地域間の人口移動はほとんど見られなくなった。
4. 賃金の高い仕事を求めて、内陸部の農村から沿岸部の工業都市への大規模な人口移動が起きた。
- 問8 アラブ首長国連邦の都市ドバイが、石油の輸送路となる海峡付近という立地を活かして、大規模な港湾施設や空港を整備した主な理由として適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 石油資源の枯渇に備え、物流や観光などを中心とした石油に依存しない経済構造へ転換するため
2. 海水を淡水化する施設を港湾内に集中させ、砂漠地帯の農業用水をすべてまかなうため
3. 周辺諸国から輸入した原油を精製し、付加価値を高めてから再びペルシヤ湾内へ輸出するため
4. 内陸部で採掘される鉄鉱石や石炭を輸出するための積み出し港を確保し、重化学工業を振興するため
- 問9 インドの産業について、2018年の工業出荷額の統計に基づいた特徴を述べた文として、正しいものはどれですか。周辺のパキスタンやスリランカでは繊維工業や食料品工業の割合が比較的高いことと比較して考えてください。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. インドでは食料品工業が工業出荷額の過半数を占めており、重化学工業の育成は遅れている。
2. インドは工業出荷額においてスリランカに劣るものの、機械工業の割合だけは周辺国より高い。
3. インドの工業出荷額は周辺諸国と同水準であるが、繊維工業の割合が最も高い点が特徴である。
4. インドは周辺諸国に比べて工業出荷額が極めて大きく、石油製品や機械などの重化学工業が発展している。
- 問10 中国の農業に関する記述として、統計上の事実と地理的背景を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 中国は米の生産量は世界1位だが、小麦は広大な農地を持つアメリカ合衆国が世界1位の生産量となっている。
2. 中国の農産物統計では大豆の生産量が最も多く、アメリカ合衆国を抑えて世界1位の生産国となっている。
3. 中国は小麦と米の生産量がいずれも世界1位であり、主に華北で小麦、華南で米の栽培が盛んに行われている。
4. 中国は小麦の生産量で世界1位だが、米についてはタイやベトナムなどの東南アジア諸国に次ぐ生産量である。
- 問11 タイとマレーシアの輸出上位品目の変遷をまとめた記録において、1980年時点と2016年時点の状況を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. タイでは1980年代から一貫して機械類の輸出が最大であり、2016年にはさらにその割合が拡大している。
2. タイでは1980年に「米・野菜・天然ゴム」が上位であったが、2016年には「機械類・自動車・プラスチック」が上位となっている。
3. マレーシアでは2016年においても、天然ゴムと木材が輸出総額の半分以上を占める主要な輸出品のままである。
4. マレーシアでは1980年に「原油・天然ゴム・木材」が上位であったが、2016年には「米・野菜・天然ゴム」が上位に代わっている。
- 問12 日本やアメリカなどの企業が、タイやマレーシアといった東南アジアの国々に生産拠点を移し、工業化が進展した主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 現地の所得水準が日本より高く、高価な製品を大量に消費する市場として魅力があるため
2. 鉄鉱石や石油などの工業に必要な天然資源が、他の地域に比べて圧倒的に豊富であるため。
3. 労働者を低い賃金で雇うことにより、製品の生産費用を安く抑えることができるため。
4. 現地の労働者が持つ高度な技術を活用し、精密機械を効率よく開発するため。